

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	スペイン語学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	エストレマドゥーラ大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	IELE Facultad de Filosofia y letras		
報告書提出日	2019年9月21日		
留学予定期間	2019年9月～2020年1月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 109 (ユーロ) /合計

航空券代： 140,000 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他 ()： () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 800,000 (円) /合計

6月上旬：受入許可証が届く。それに合わせ航空券の予約。残高証明書の発行

6月下旬：VISA申請。受入許可証の原本が届く。

7月末：留学先からオリエンテーションの日程が届く。受入許可証には9月2日から大学が始まるとの記載があったが、オリエンテーションの日程は9月10日からとなっていた。

8月頭：VISAの受け取りをする。現地に夜到着する便だったので、宿泊するホテルを予約

8月上旬：前年度の留学生と会い、情報を聞く

来年同じ大学に行く学生は、当日泊まるホテルはアトーチャ駅付近にすることを強くお勧めする。

1.2. 渡航について

成田空港発ヘルシンキ経由で約15時間のフライトでマドリードへ。

現地では2日ほどマドリードを観光したのち、大学のあるカセレスへ向かった。

空港から初日のホテルまでは、バスと地下鉄で向かった。合わせて30分ほどの移動時間だった。

マドリードからカセレスまでは高速バスでの移動。4時間ほどで25ユーロだった。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

前年度の留学生が使っていたシェアハウスに入居。

事前に大家さんと連絡を取り合っていたのでスムーズに入居することが出来た。

1 か月 175 ユーロで準備が出来たら手渡し。書類などの手続きはなかった。
風呂トイレキッチンは共用。部屋は一人部屋。
冷房がなく、窓を開けて過ごすしかない。
ルームメイトはメキシコ人の女の子二人とベネズエラ人の女の子が一人。非常にやさしい。
家のドアのかぎの開け方が非常に難しい。コツをつかむまで1週間かかった。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

日本で取得したビザで賄えたため、不要

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9/10 オリエンテーション 国際センター、学部、語学学校の説明 のちにカセレスの世界遺産の案内、パエリアを食べながらの交流会 授業は始まっていたが、留学生はまだ出席しなくてよい
9/11 警察署と銀行の説明 授業料の支払いと授業の登録方法の説明 キャンパスツアー 所属する学部の説明会
9/12 メリダへの遠足
9/13 奨学金の書類にサインをもらう ESN カードの作成
9/14 語学学校のプレイスメントテストをオンラインで受ける
9/16 授業に出席
9/17 授業登録用の書類を提出
9/18 授業料の支払い

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国後に DELE B1 を取得できるように、語学力を上げる。日本人は文法は得意だがリスニングとスピーキングが弱いので、その2つのレベルを上げる。毎日必ずスペイン語を喋り、わからない言葉はメモを取り意味を調べる。いろいろな国の人と知り合いになりたい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

日本でのネイティブの先生との会話がいかに分かりやすく易しいものであつかがよく分かった。こちらの先生はすごく早口で、日本でいくらスピーキングの練習をしても、やはり現地では手も足も出ない。聞き取れる単語があっても、それを理解するのに時間がかかる。授業を録音して、最低2回は繰り返し聞くという習慣をつけたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

ルームメイトと積極的に会話する。間違いを恐れずにどんどん話しかける。言語の上達には、その言語を使って話すことが一番重要だと考えているので、毎日必ずスペイン語を話す習慣をつけたい。また、わからない言葉は必ずメモを取り、その動詞の活用、例文を書いて覚える。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	
火	Gramática Normativa (11:00-13:00)
水	Gramática Normativa (11:00-13:00)
木	
金	
土	
日	

4.2. 授業について

Gramática Normativa (一コマ/60分)(4コマ/週)

概要：スペイン語の文法規範について扱っている

特徴：講義形式だが、学生の発言が多い。スライドショーで授業を進める。積極的に質問や挙手ができる環境である

評価：テスト 70%、課題 20%、出席率 10%

授業を受けるうえで、専門的な文法用語を知っていないと苦勞する。わからない言葉はとにかくメモをとる。

4.3. 予習・復習・自習について

授業のスピードが早いので、録音をして家で聞き返すことが重要。早口な箇所は何度も繰り返し聞く。

授業用のノートと、理解度を上げるために和訳してまとめる用のノートを二冊作っている。

わからない単語は、自分で覚えるまで書く。

次回の授業の前に、前回の復習としてノートの見直しと録音を聞くことを欠かさず行う。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	シェアハウス
	人見知りなので、家に自分以外の人間がいることに戸惑った。話しかけるのにも勇気が必要だった。でも、ちょっとだけ勇気を出したらすぐに仲良くなれた。 自分の部屋にこもっていたらもったいないので、常に居間にいるようにした。部屋のドアも寝るとき以外は閉めないようにした。 潔癖症なので風呂トイレが共用なのが苦痛だと思ったが、家には風呂トイレが二つあり、私が使用しているトイレはだれも使わないため、快適に過ごせている。 一人暮らしを経験していると、快適に過ごすことが出来る。

5.2. 課外活動について

休日は、街を散策してみたり、留学生のためのボランティアが企画したイベントに参加したりした。大学以外にも知り合いが出来て、楽しく過ごしている。せっかくなのでスペイン国内を旅行してみたいと思う。

5.3. 現在までの感想

現地での生活は快適です。土足文化に慣れず、ときどき気分が悪くなることはありますが、そのうち慣れると思います。問題などは、自分で解決する力が付きました。強くなったと思います。一番の悩みは日本人です。極力日本語は喋りたくないし、日本人と関わりたくないなので、いろいろなことを一緒にやろうと言われると、すごく困ってしまいます。私は留学の期間が半年なので、一日も無駄にしたくないので、どうしたらいいかわからず困っています。でもそのうち慣れると思うので、我慢しようと思います。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（11月）

所属	外国語学部	スペイン語学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	エストレマドゥーラ大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Facultad de filosofia y letras IELE		
報告書提出日	2019年11月2日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

この留学を通しての目標は、一番苦手であるスピーキング力を向上させること。毎日必ずネイティブと会話することを目標にして、新しく覚えた言葉をすぐに使うように心がけている。DELEのB2レベルを目標にして、スピーキングだけではなく語学学校にて行われるライティングやスペイン語の本を読むことにも努めている。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

当初の予定を変更し、大学で現地の学生と一緒に受ける授業を2科目と、大学付属の語学学校と、もう一つは町にある語学学校に通っている。

大学の授業は進むスピードが早く、二つの授業を取っていますがどちらも授業中に理解をすることは不可能です。そのため毎回録音を行い、帰宅後に録音を聞き、ノートをまとめ日本語に翻訳している。この作業がないと授業を理解することはできない。この作業のおかげで翻訳するスピードが早くなった。大学の語学学校は週に2コマ90分しか開講されないため、別の語学学校の授業を取ることによって語学の面は賄っている。語学学校で週に覚えた単語を書く課題があり、そのおかげでボキャブラリーが徐々に増えている。また、先月は授業についていくことが精いっぱい、また午前は大学の授業を受け午後は語学学校に通っているため、人との会話が疎かになりがちだったが、今月は第一目標であるスピーキングの向上のため、先月以上に人と関わりたいと思っている。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月は、大学の授業の課題をこなすことを最優先に考えている。レポートが二つあるので、週末の時間はその課題に充てたいと思っている。また、語学学校では中間テストが行われるので、そちらの準備も進めたいと考えている。ボキャブラリーを増やすために、一日10個新しい単語を書き留めたい。語学は人とその言語を話すことで初めて上達すると考える。そして授業だけではなくインフォーマルな場で覚える言いまわしも多く、非常に興味深いため、人とのかかわりも大切にしたい。また同じく、映画から覚える言葉も多いため、一か月に2本を目標にスペイン語の映画を鑑賞することを目標にする。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Historia de España (13-14) Curso de español(17-18:30)
火	Historia de España (10-11) Gramatica Normativa(11-13)
水	Historia de España (9-10) Gramatica Normativa (11-13) Curso de español(18:30-20)
木	Historia de España (9-10)
金	
土	
日	

2.2. 授業について

Historia de España (一コマ 60 分/週 4)

スペイン史の授業。日本で取ったことのある科目だったため、予備知識があると理解しやすい。また、授業のレポートで使用する映画を見たことによって、面白さが増した。面白い内容ではあるが、授業の理解度は全くもって駄目で、なにも理解できない。そのため、授業の録音と復習が欠かせない。前回同様理解は自分でどうにか頑張るしかない。スペインの歴史に関する映画を一本鑑賞し、そのテーマでレポートを書く課題が出た。締め切りは 12 月だがスペイン語で書かなくてはならないため今から準備を進めている。

Gramatica Normativa (一コマ 60 分/週 2 二時間連続)

スペイン語のアクセントや、地方によつての違い、発音の違いなどを分析する授業。日本での言語学の授業と音声学の授業を合わせたようなもの。先生の発音が分かりやすく、Historia de eapana よりも理解度は高い。しかし専門用語が多いため多少の予備知識がないと理解するのが困難。この授業も録音し、取ったノート日本語に翻訳する作業をしないと理解することはできない。こちらの授業も 12 月提出のレポートがあるため今から準備を進めている。

Curso de español (一コマ 90 分/週 2)

スペイン語の語学学校。周りはスペイン語をあまり話せない子が多く、たまに英語やフランス語で会話しているのを耳にする。少人数のクラスなので日本よりも発言することが出来る。

週に覚えた単語や、新しい経験、インフォーマルな言葉などを書いて生徒間で共有するアクティビティがあり、それがボキャブラリーを増やすのに非常に役立っている。内容はあまり難しいものではないが、話すことが苦手な私にとっては適切なレベルだと感じる。

2.3. 予習・復習・自習について

Historia de eapaña

授業を録音し、帰宅後にもう一度聞く。スペイン史の予備知識として、おおまかな流れを日本語で理解する作業をする。また、ノートを和訳し、もう一度まとめなおしている。

Gramatica Normativa

スペイン史同様、授業を録音し、家でもう一度聞きなおしている。授業中に取ったノートを日本語へ

訳し、日本語でもわからない言葉は調べている。

Curso de español

授業中にでてきたわからない言葉や言い回しを調べて、復習用ノートに書きこんでいる。その記憶を定着させるために声に出しながら書き取り、また、会話で使うようにしている。授業の前には前回の授業の復習として、わからなかった言葉の再確認をしている。

2.4. 語学力について

留学生同士の会話には難なくついていくことが出来る。しかし道で話しかけられたり、お店で質問をして返ってきた返答など、現地の人スペイン語はまだ完璧に理解できない。しかしスペインに来た時に比べると、随分話せるようになったと感じる。積極的に人と会話をする機会を設け、恥ずかしがらずにどんどん会話するように心がけている。大学の授業のスペイン語は全く理解が出来ず、一か月前と比べても何の変化もない。問題点として、ボキャブラリーの少なさがあげられる。ボキャブラリーが少なくても簡単な言い回しに言い換えることはできるので、それで対応しつつ新しい単語を覚えていきたい。また、文法が正しいか気にしてしまうので、スペイン語を楽しく話すことを最優先にしたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居

シェアハウス

メキシコ人の女の子2人と、ベネズエラ人の女の子1人と計四人で暮らしている。ここで暮らして思ったことは、スペインのスペイン語(カステジャーノ)とラテンアメリカのスペイン語(ラティーノ)は発音や単語がかなり違うため非常に興味深い。しかし時に何を言っているのかわからないことがある。その時は意味を尋ねると簡単な言葉で教えてくれるので、問題はない。共用スペースが汚いとか、掃除の役割分担などで困ったことはない。一緒に暮らし始めて二か月がたち、だいぶ打ち解けてきて、週末には四人で食事に行ったりしている。食生活は、料理をすると復習の時間が取れないため平日はしておらず、学食や外食をするお金もないので基本的に一日一食。友達と遊びに行くときはたくさん食べるがそれ以外は一日パンとコーヒーで済ませている。寒くなってきたのでコートと毛布を購入し非常に快適に過ごしている。

3.2. 課外活動について

最近の週末はフランス人・スペイン人・イタリア人・ペルー人・アメリカ人の友人たちと、バーに行くのが定番である。いろいろな文化の違いについて話したり、お互いの言語を教えあったり、また若い人が多いのでインフォーマルなスペイン語を知るよい機会であり、自分の知識も広げられる。このような遊びの場がスピーキングを伸ばすには一番良いと感じている。10月にはサラマンカへ旅行に行った。サラマンカは私のいるカセレスと比べて驚くほど栄えており、日本人の学生がたくさんいた。その点カセレスは日本人の学生が二人しかいないので、スペイン語を学ぶにはちょうどいいと思った。12月にドイツへの旅行とスペイン国内を一周する旅行を計画しているので、11月は課題を頑張りたい。

3.3. 現在までの感想

スペインでの生活も2か月がたち、非常に快適に過ごしている。友人も増え、みな非常にあたたかく良い人たちで日々が充実している。あと三か月という残された時間を毎日悔いのないように過ごしたいと思う。

以上